

大仏ノート × Lステップ 連携ガイド

Lステップ「フリープラン」をお使いの教室向け

すでにLステップを導入している教室でも、大仏ノートのLINE通知を併用できます。

LステップがLINEのWebhookを使っているため、通常版とは設定方法が少し変わります。この手順書のとおりに進めれば大丈夫です。

所要時間 約10分

① まず結論：フリープランでも「連携できます」

✓ フリープランでも使える

- ✓ 入退室通知（保護者へ自動送信）
- ✓ お知らせ文の自動付加
- ✓ 体験申込・予約・キャンセル通知（先生へ）
- ✓ 月報のLINE配信
- ✓ 保護者連携（LINEログイン方式）
- ✓ テスト送信

✗ フリープランでは使えない

- ✗ 保護者からの欠席連絡の自動受付
- ✗ 振替予約の自動案内フロー
- ✗ 連携コードによる自動リンク
（保護者がコード送信 → 自動連携）

※ これらは「受信」が必要な機能。Lステップ側の自動応答／シナリオで代替できます。

② なぜ一部だけ使えないの？（やさしい理由）

LINEの「受信の宛先（Webhook URL）」は1つしか登録できないから

その1枠を **すでにLステップが使っている**ため、大仏ノートは保護者からのメッセージを「受信」できません。一方で「送信」は同じLINEアカウントから問題なくできるので、入退室通知などはそのまま使えます。👉 **送信系＝OK／受信系＝Lステップにおまかせ**、という役割分担になります。

③ 全体の流れ（5ステップ）

1

LINE Developersで
トークン取得
(3分)

2

先生のLINE
User ID取得
(1分)

3

大仏ノートに保存
※URLは触らない
(1分)

4

LINE Login
チャネル作成
(5分・初回のみ)

5

保護者用URLを
発行して送る
(1人30秒)

④ ⚠️ 絶対にやってはいけない3つ

これをやるとLステップが止まります！

- ✗ **LINE DevelopersのWebhook URL欄を書き換えない**
今はLステップのURL（https://...lstep.app/...）が入っています。そのままにしてください。
- ✗ **「Webhookの利用」トグルをOFFにしない**
OFFにするとLステップ側も動かなくなります。ONのままでOK。
- ✗ **新しいチャネルを作らない**
Lステップと同じチャネル（同じトークン・シークレット）を大仏ノートにも登録します。

⑤ 設定手順（このとおりに進めればOK）

1 トークンとシークレットを取得

約3分 ※Lステップ設定時と同じ値。お手元にあればステップ3へ

- 1 LINE Developers コンソールを開く（developers.line.biz/console/）
- 2 Lステップ連携に使っているプロバイダー → チャンネル（Messaging API）を選択
- 3 「チャンネル基本設定」タブで **チャンネルシークレット** をコピー
- 4 「Messaging API設定」タブで **チャンネルアクセストークン（長期）** をコピー

注意：すでに発行済みなら、表示中の値を**そのままコピー**。「再発行」は押さないでください（押すとLステップが止まります）。まだ無ければ「発行」→Lステップ側にも同じ値を貼り直してください。

2 先生自身のLINE User ID を取得

約1分 ※予約・体験通知を先生のLINEで受け取るため

- 1 LINE Developersの「チャンネル基本設定」タブを開く
- 2 ページ最下部までスクロール → **あなたのユーザーID**（Uから始まる文字列）をコピー

💡 これは**先生自身のLINE**のID（保護者のIDではありません）。教室の公式LINEを友だち追加している先生個人のLINEです。

3 大仏ノートに保存（Webhook URLには触らない）

約1分

ここが通常版との最大の違い：「Webhook URLを登録して検証」する手順は**スキップ**します。大仏ノートにトークンを保存するだけで送信は動きます。

- 1 大仏ノート → 設定ページ → 「LINE連携」タブを開く
- 2 3つの欄に貼り付け：

チャンネルアクセストークン	→ ステップ1-④の値
チャンネルシークレット	→ ステップ1-③の値
先生のLINE User ID	→ ステップ2-②の値

- 3 チェックは次の2つだけON：

- ☒ 入退室をLINEで保護者に通知する
- ☒ 予約・キャンセル・欠席を先生のLINEに通知する
- ☐ 保護者からの欠席連絡をLINEで受け取る（← 動かないのでOFF）

- 4 「LINE設定を保存」をクリック
- 5 「テスト送信」で先生のLINEにメッセージが届けば成功 ☒

注意：LINE Developersの画面は一切変更しないこと。Webhook URL欄のLステップURLはそのままが正解です。

4

LINE Loginチャネルを作成（保護者連携用）

約5分・初回だけ

フリープランでは「連携コードで自動連携」が使えないため、代わりに**保護者にURLを送ってLINEログインしてもらう方式**で連携します。そのために「LINE Loginチャネル」を1つ追加します。

重要：必ず **Messaging APIと同じプロバイダ**の中に作ってください。別プロバイダだとUser IDが一致せず通知が届きません。

- 1 LINE Developersで**Messaging APIが入っているプロバイダ**をクリック
- 2 「新規チャネル作成」→「**LINE Login**」を選択
- 3 チャネル名（例「〇〇教室 連携用」）を入力。アプリタイプは「**ウェブアプリ**」
- 4 「LINE Login設定」タブ→「**コールバックURL**」に下記を登録：

```
https://www.daibutu-note.com/api/line/parent-link/callback
```

- 5 「チャネル基本設定」から**チャネルID**と**チャネルシークレット**をコピー → 大仏ノートの設定ページ「保護者向け連携リンク用 LINE Loginチャネル」に貼り付けて保存

💡 この作業は**一度だけ**。あとは保護者ごとにURLを発行するだけです。

5

保護者用URLを発行して送る

生徒1人あたり約30秒

- 1 大仏ノート → **生徒管理**から対象の生徒を選ぶ
- 2 生徒詳細ページの「**LINE連携**」セクションを開く
- 3 「**保護者向けURLを発行**」をクリック → 表示されたURLをコピー
- 4 そのURLを保護者にLINEやメールで送付。保護者は開いて「**LINEで連携する**」を押すだけ
- 5 ステータスが「**連携済み**」になれば完了！次回から入退室時に自動通知が届きます ✅

💡 URLの有効期限は**7日間**。全員一度に登録する必要はなく、希望する保護者から順番でOKです。

⑥ おすすめの使い分け

大仏ノートが担当

- 入退室通知（QR出席のたびに自動送信）
- 月末の月報配信（1クリック）
- お知らせ文の自動付加
- 体験申込・予約の通知（先生のLINEへ）

Lステップが担当

- 友だち追加時のあいさつシナリオ
- 体験申込フォーム（回答フォーム）
- 欠席連絡の受付（自動応答で対応）
- リッチメニュー・カラーセル配信

⑦ 受信系も全部使いたい場合は？

Lステップを「スタンダードプラン以上」に上げると、「外部連携Webhook（転送機能）」が使えます。Lステップが受け取った保護者のメッセージを大仏ノートにも転送できるので、**欠席連絡の自動受付・振替予約フロー・連携コード自動リンク**もすべて動くようになります。（その場合は別途セットアップが必要です。大仏ノートの「意見箱」からご相談ください。）